

河北と神戸

あれから

5年
と21年

加藤正文（神戸新聞社）× 松田博英（河北新報社）

震 災から21年を数える神戸市と5年を数える仙台市。ふたつの市街地では、震災、避難生活、生活再建、復興そして防災はどのように伝えられてきたのでしょうか。老舗地方紙である「神戸新聞社」と「河北新報社」で、ふたつの大震災を記録してきたふたりの記者をお招きし、新聞に託されてきた「伝言」についてお話を伺います。日々紙面上に震災を伝えてきた新聞社は、発災時のみならず、「アーカイブ」として震災以降どのような役割を果たしているのかについてもお話いただきます。

2016年2月21日 Sun 14:30~16:30 [14:00 開場]
仙台市営地下鉄東西線 荒井駅「せんだい3.11メモリアル交流館」